
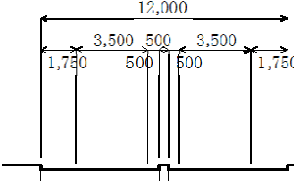



再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：環境安全課

担当課長名：菊地 春海

事業名	一般県道諫早外環状線 <small>いさはやそとかんじょう わしざき くれも</small> （鷺崎～栗面工区）		事業区分	地方道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県諫早市長野町 <small>ながさきけんいさはやしながのまち</small> 至：長崎県諫早市栗面町 <small>ながさきけんいさはやしくれもち</small>				延長	2.7km
事業概要	一般県道諫早外環状線は、島原道路の一部として広域ネットワークを形成し、地域活性化に寄与する自動車専用道路である。また、諫早市の環状道路として、現在事業中の諫早インター工区と一体となって、諫早市中心部の道路混雑を緩和する事業である。					
H23年度事業化	H22都市計画決定		H23年度用地着手		H24年度工事着手	
全体事業費	120.0億円		事業進捗率	44%	供用済延長	0.0km
計画交通量	10,100台/日（H42）					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.3 (残事業) 3.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 44/113億円 〔事業費：43/112億円〕 〔維持管理費：0.7/0.7億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 142/142億円 〔走行時間短縮便益：102/102億円〕 〔走行費用減少便益：24/24億円〕 〔交通事故減少便益：16/16億円〕	基準年 平成27年		
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 【全体事業】交通量：B/C=1.1～1.4（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.1～1.4（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.1～1.3（事業期間±20%） 【残事業】B/C=2.9～3.6（交通量 ±10%） B/C=3.0～3.6（事業費 ±10%） B/C=3.1～3.3（事業期間±20%）					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・広域ネットワークの形成（諫早市街地の慢性的な交通渋滞の緩和による社会活動の活性化） ・島原半島へのアクセス性の向上（地域間の連絡時間短縮による地域振興及び救急医療の支援） ・交通安全性の向上（交通混雑の緩和による交通事故の減少） 					
関係する地方公共団体等の意見	「諫早市」、「島原半島幹線道路網建設促進期成会」、「長崎県商工会議所連合会」より整備促進の要望がおこなわれている。					
事業評価監視委員会の意見	長崎県公共事業評価監視委員会において、審議の結果「事業継続」が妥当であると認められた。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	島原道路の一部である愛野森山BP（雲仙市愛野町～諫早市森山町）L=1.8kmが平成25年12月に供用。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成26年度末までの事業進捗率44%、用地進捗率59%である。引き続き工事及び用地取得の推進を図り、平成30年度の事業完成を目指す。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	事業の進捗に係わる問題は無い。地元や関係機関との協力し引き続き残工事等の事業進捗を図る。					
施設の構造や工法の変更等	掘削残土を他工区盛土へ流用による工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>位置図</p>  <p>事業箇所</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>標準断面図</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用と総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。